

# 民族の祭典 (1938)

FEST DER VOLKER-OLYMPIA TEIL I

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 ドイツ

色彩 B&amp;W

時間 138分

初公開日 1940/06

公開情報 劇場公開

## 【解説】

「美の祭典」と併せて“オリンピア”二部作となる、36年ベルリン・オリンピックの記録映画。ギリシャ古代遺跡に始まり、その彫刻と同じようにポーズをとる裸体美の描写などから第三帝国の美の基準がかいま見えもするが、同大会において初めて試みられたという聖火リレーの象徴性に満ちたモンタージュなど、リーフェンシュタールのビジュアルリストとしての力量にやはり感嘆せざるを得ない。ヒトラーご満悦の開会式に続いて、ここで見られる競技と言えは陸上だけだが、その見せ方にも工夫が凝らされており、100mを走者と同じ速度で併走する移動撮影装置で撮られた映像など、鶏が先か卵が先か……ではないが、競技と映像の主従関係が逆転した感を抱かせる。この大会での最大のスターだった“黒い弾丸”、アメリカのオーエンスの勇姿はさすがに印象深い。

## 【クレジット】

監督 レニ・リーフェンシュタール Leni Riefenstahl

撮影 ウィディ・ジールケ

ハンス・エルトル

ワルター・フレンツ

グツィ・ランチェナー

クルト・ノイバート

Kurt Neubert

ハンス・ミシャイブ

音楽 ヘルベルト・ヴィント

Herbert Windt